

第40回福山大学グリーンサイエンスセミナー (兼 福山大学大学院セミナー)



沖縄で生物採取中の小林博士
(沖縄・伊江島、水深30m)

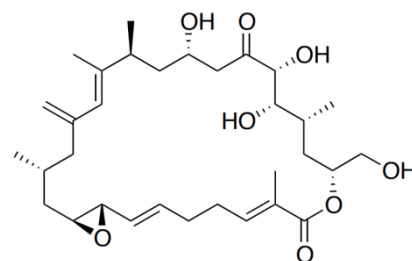
生物活性天然物の ケミカルバイオロジー

小林 淳一 博士

(北海道大学名誉教授)

これまで30数年にわたり、沖縄産の海洋生物(海綿、ホヤ、渦鞭毛藻など)、陸上の植物(イチイ、ユズリハ、ヒカゲノカズラ、オトギリソウなど)、海洋微生物(海洋細菌、海洋由来真菌など)と陸上微生物(放線菌など)から、1000を超える新規生物活性天然物質(アルカロイド、マクロライド、ポリケタイド、テルペノイドなど)を単離、構造決定しており、これらの化合物の中には、新しい医薬品のリード化合物、あるいは生体機能解明のためのバイオプローブ(研究用試薬)として期待されるものが数多く含まれている。それらの中から代表的な研究例を紹介したい。

日時: 平成29年12月4日(月)
午後3時～午後5時



Amphidinolide H

場所: 薬学部34号館3階 学習支援室 I

※教員、大学院生、学部学生など多くの方のご来聴をお待ちしております

主催: 福山大学GSC(福山市学園町)
電話: 084-936-2112(ex4012)
福山大学大学院(共催)

世話人: 石津 隆(薬学部 ex5225)

Email: ishizu@fupharm.
fukuyama-u.ac.jp

